坂元小だより

鹿児島市立坂元小学校
学　校　だ　よ　り
令和８年４月号
発行責任者：岩下　修一

やってみよう　頑張ってみよう　みんなが笑顔の坂元小

「 自らの命を守る基礎的な力を育てる 」

坂元小学校　校長　岩下　修一

風薫るさわやかな季節となりました。保護者ならびに地域の皆様におかれましては、平素より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、ニュース等で報道されておりますとおり、現在、東北地方において地震が相次いで発生しております。不安な日々を過ごされている被災地の方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、早期に平穏な生活が戻ることを祈るばかりです。遠く離れた地での出来事ではありますが、このニュースを目にするたび、「災害はいつ、どこで起こるかわからない」という事実を改めて突きつけられます。

ここ鹿児島においても、地震はもちろんのこと、台風や局地的な大雨、そして桜島の火山活動など、自然災害に対する備えは決して他人事ではありません。本校では、子どもたち一人一人が「自分の命は自分で守る」という意識を高め、いざという時に落ち着いて適切な行動がとれるよう、本校でも防災教育に力を入れていきます。

その一環として、５月９日（第２土曜日）に「防災について考える日」を実施いたします。当日は、６年生が「非常炊き出し訓練」、その後、全校児童が地震・火災避難訓練、保護者引き渡し訓練を行います。

「非常炊き出し訓練」（右写真）は、避難施設等において、日本赤十字社や社会福祉協議会が行う「食事づくり」の訓練です。簡単ではありますが、調理方法や食べ方に工夫があり、災害訓練として多くのことを学ぶことができます。

①特殊なポリ袋に米と水を入れ、②お鍋でぐつぐつ約３０分、③少し冷ましたら出来上がり。

また、併せて、保護者と地域住民の方向けに、「心肺蘇生法及び AED 講習会」を実施します。子どもたちもこの日は「防災について考える日」になりますが、保護者や地域の方にも「非常炊き出し訓練」「心肺蘇生法及び AED 講習会」に参加していただき、防災について考えていただければと思います。※4/21 紙媒体及びメールにて案内済み、学校へ問合せ可

さらに、防災において最も重要なのは、学校での指導に加え、ご家庭での日頃からの話し合いです。この「防災について考える日」を一つの契機として、週末にはぜひ、ご家庭でも以下の点について確認し合ってみてください。

- ○　**家族の連絡方法とルール**（災害用伝言ダイヤルの使い方など）
- ○　**いざという時の避難場所・集合場所の確認**
- ○　**通学路やご自宅周辺の危険箇所の点検**
- ○　**非常持ち出し袋の準備と中身の確認**

「備えあれば憂いなし」という言葉の通り、平時からの準備と心構えが、いざという時に子どもたちの尊い命を救うことに繋がります。

教職員一同、今後も子どもたちの安全と安心を第一に考え、教育活動に取り組んでまいります。保護者・地域の皆様におかれましても、引き続き本校の教育活動へのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

＊裏面もあります。